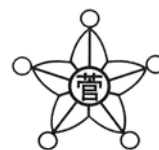


# 菅原小だより



第3号

枚方市立菅原小学校  
校長 牧野 好秀



## 豊かな心を育む体験活動

新緑の鮮やかさと爽やかな陽気を感じながら過ごした5月が過ぎ、少し動けば、すぐに汗ばむ頃となりました。毎朝、門で子どもたちを迎えていると、特に、日向では気温が少しずつ高くなってきているのを感じるようになってきました。

さて、以前にもお伝えしましたが、登校してくる子どもたちの「おはようございます。」と明るく大きな声の挨拶、丁寧にお辞儀する挨拶、また手を振りながらする挨拶など、色々な挨拶があり、さらには、子どもたち自ら進んでする挨拶も増えています。その声や姿に元気をもらい、とても嬉しくなり、清々しい一日の始まりを迎えています。

先日、たくさんの小中学校を巡回、見守りをしている警察OBの方が本校の子どもたちの挨拶する姿を見て、「挨拶がとてもできていて、嬉しくなりますね。」とお褒めの言葉をいただきました。挨拶する姿は、朝の登校時だけでなく、廊下をすれ違う時にも「こんにちは。」などと挨拶をしてくれます。子どもたちの素直な挨拶をこれからも大切にしていきたいと思えます。

今年度は、5月に入り、各学年の校外学習（遠足）を実施することができ、とても嬉しく思っています。また、今週の6月2日（木）、3日（金）には5年生の宿泊学習を実施いたします。子どもたちの楽しみにしている学校行事の1つで貴重な学びと良い思い出になって欲しいと願っています。校外学習も宿泊学習も子どもたちにとって、とても有意義な体験活動で、子どもたちが持つ「五感」を通して、様々なことを感じ取り、思考を活性化させ、学ぶことの喜びや意欲等も生み出します。

文部科学省のホームページの中にも、体験学習について、次のように記載されています。

『体験活動は、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基盤、子どもの成長の糧としての役割が期待されている。つまり、思考や実践の出発点あるいは基盤として、あるいは、思考や知識を働かせ、実践して、よりよい生活を創り出していくために体験が必要であるとされている。具体的には、次のような点において



効果があると考えられる。』

- 1 現実の世界や生活などへの興味・関心、意欲の向上
- 2 問題発見や問題解決能力の育成
- 3 思考や理解の基盤づくり
- 4 教科等の「知」の総合化と実践化
- 5 自己との出会いと成就感や自尊感情の獲得
- 6 社会性や共に生きる力の育成
- 7 豊かな人間性や価値観の形成
- 8 基礎的な体力や心身の健康の保持増進

また、独立行政法人国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センターによる『青少年の体験活動等に関する意識調査（令和元年度調査）～心身の諸側面、社会経済的背景との関係～』では、「自然体験や生活体験、文化芸術体験が豊富な子供、お手伝いを多く行っている子供は、自己肯定感が高く、自立的行動習慣や探究力が身につけている傾向がある。」と結果報告されています。

学校の教育活動として行う様々な体験活動の中には、様々な生活場面や自然、社会、そして色々な人々との関わりなど、直接的な体験も行います。その関わりの中で、何かを発見したり、楽しんだり、感動したり、また少しハードルの高い難しいことに取り組み、葛藤したり、解決の方法を模索したりするなど、社会性（人や社会とよりよくかかわる力）を高め、豊かな人間性を育み、様々な力の習得や心身の成長にも繋がっていくと思います。そのような貴重な体験となるよう子どもたちを支援し、取り組みを進めていきたいと考えています。

各ご家庭におかれましても、今後も引き続き、子どもたちの取り組んだ活動や体験について、お話を聴いていただき、子どもたちが、自信を持ち、次の取り組みへ一歩踏み出せるよう励まし等をお願いしたいと思います。



最後に、日々の学校生活や教育活動の様子の一部ですが、「菅原小学校ブログ」にてお知らせしています。ご覧いただき、ありがとうございます。6月2日（木）、3日（金）の宿泊学習の様子についても、その一部ですが、同様に掲載いたします。

ご覧いただければ、嬉しく思います。

